

[原著論文：査読付]

似て非なる日中の漢字  
——中国語母語話者の日本語学習における漢字の異同——

朱 風\*

On the Comparasion between Chinese Characters in both  
Japanese and Chinese from the Perspective of the  
Native Chinese Speakers

Feng ZHU\*

Abstract

For the Native Chinese Speakers, it is easy to master the Chinese characters in Japanese. Because there is almost no strange Chinese characters in Japanese for them. After being introduced into Japan in ancient times, Chinese characters have formed into a comparatively complete system, through Japanese's learning, using as well as exploring them. Although the Chinese characters in Japanese have a profound relationship with Chinese in terms of their pronunciation, formation and meaning, there are still huge differences between them. At most occasions, even for the same Chinese characters in both Japanese and Chinese, their formation, meaning and usage may not be the same. Those would be the problems and difficulties every Native Chinese Speakers.

In this paper, the author introduces the word formation of Chinese characters in Japanese, compares the font style and meaning of Chinese characters in both Japanese and Chinese, and highlights the key points the native Chinese speaker who learn Japanese need to lay emphasis on. Additionally, the author makes a further study on the Chinese characters in Japanese and Chinese, by using the current textbooks, based on the personal experience working as a teacher in both Chinese and Japanese universities.

**KEY WORDS :** Native Chinese Speakers, Chinese characters, Japanese, Chinese

---

\* 九州共立大学共通教育センター

\* Kyushu Kyoritsu University, Career and General  
Education Center

## 1. はじめに

日本語能力試験は、日本語を母語しない人の日本語能力を測定し認定する試験として、国際交流基金と日本国際教育協会（現日本国際教育支援協会）が1984年に開始した。開始当初の受験者数は全世界で7千人ほどだったが、2018年の受験者数は全世界で約100万人にのぼり、海外の85カ国で64万人余りの受験者のうち、中国での受験者が24万人余りであった。また、日本国内の36万人余りのうち、中国人の受験者が半分以上を占めている。<sup>1)</sup> よって、日本語を学習する外国人の中、中国語母語話者<sup>2)</sup> が一番多いのは間違いないだろう。

中国語母語話者にとっては、日本語学習の入門段階で導入される漢字の中には、中国語と共通しているものが多いため、日本語漢字の使用は容易いことである。しかし、日本語の漢字の中には、中国語の知識が有効に活用できる語彙と、かえって言葉の理解や使用の妨げになりうる語彙がある。同じく漢字を使用しても日中の漢字は形や意味・用法が違うことが意外と多い。似て非なる日中の漢字を正確に認識しないと、思わぬ誤解を招くことになっている。母語の中国語で習得した漢字の知識を活かしながら、異なる日本語の漢字を注意しなければならない。

本稿では、日中漢字の特徴と構造などを確認しながら、中国語母語話者の日本語学習における漢字の異同について、筆者のこれまで中国と日本の大学で日本語教育に従事してきた経験に基づいて具体的に考察してみたい。

## 2. 日本語の漢字

### 2.1. 新字体と簡体字

日本と中国では、漢字の数の多さと複雑さに対応するために、戦後にそれまで使用していた文字の使用を制限したり、文字自体を簡略化したりするという方法で文字改革が実施された。しかし、それぞれが独自に改革を行ったため、かつて康熙字典体<sup>3)</sup> を主とした字体の使用ということで共通していた日中の漢字使用に大きな変化をもたらした。

新字体は、日本において1923年の『常用漢字表』に示された略字制定以降、1949年に告示された『当用漢字字体表』などを経て現在まで正式に使用されている漢字の異体字である。この新字体は、旧字体の旁を同音の画数の少ない文字に差し替える、複雑な部分

を省略した記号に置き換えるなどの手法で簡略化したものである。旧字体から新字体を生み出すために採られた簡略化の仕方は、大まかに分けて以下の通りである。

#### (1) 部首の変更

簡略化のために部首が変わった字がある。例えば、

旧体字→新体字：鬪→闘、關→関、單→单、學→学、聲→声、醫→医。

#### (2) 行草書の楷書化

旧字体の行書体及び草書体を楷書体化し新字体にしたもの。例えば、

旧体字→新体字：圖→図、觀→観、晝→昼。

#### (3) 繁雑部位の削除

旧字体の一部分を削る。例えば、

旧体字→新体字：應→応、藝→芸、縣→県、絲→糸、蟲→虫。

#### (4) 音符の交換

漢字の大半は形声文字である（指事文字や象形文字、会意文字などの漢字もあるが、全体の10%にも満たない）。繁雑な音符をもつ旧字体を同じ音を持つ別の音符に置き換えてつくられた新字体がある。たとえば、

旧体字→新体字：圍→囲、竊→窃、廳→庁、擔→担、證→証、釋→釈。

#### (5) 字体の統一

2通り以上の字体が使われていた旧字体を統一したもの。例えば、

旧体字→新体字：嶋・寫→島、青・靑→青。

#### (6) 筆画の減らす

旧字体の画数を減らし、あるいは旧字体の一部だけを使う。例えば、

旧体字→新体字：來→来、鐵→鉄、與→与、臺→台、氣→気、國→国、眞→真、鹽→塩、櫻→桜、廣→広、邊→辺、濱→浜、寶→宝、恵→恵。

一方、現在、中国大陆をはじめ、香港や澳門などで使われているのは、「簡体字」（中国語で「簡化字」という）と呼ばれる中国特有の簡略化された漢字である。例えば、「漢語」の簡体字は「汉语」である。古典の印刷や特別な用途を除いては、新聞や雑誌・学校の教科書や一般の書物など、社会生活の中ではこの「簡体字」を使うことが義務づけられている。現在、正規の簡体字として認定されているのは『簡化字総表』に収められている2238字である。<sup>4)</sup> なお、台湾では、まだ「繁体字」（すなわち旧字）が使われている。

## 2.2. 国字

日本で作られた漢字を国字（和字・和製漢字などとも呼ばれる）と言う。国字の作成方法は、漢字の「六書」の造字ルールのうち「会意」に倣って作られることが多い。峠・畑・辻・榊など古く作られたものと、西洋文明の影響で近代に作られた膝・腺・脛・胚・籽・ミリリットルなどがある。主に訓読みのみであるが、働・働のように音訓の両方があるものと、鉦・鯨など音読みのみのももある。また、姓の「畑」は中国でも日本人の姓を表記するために用いられて、『新華字典』などの字書にも収録されている。

## 2.3. 漢字の数

世界最大の漢和辞典を誇る『大漢和辞典』（全15巻、大修館出版社、2000年）には、古代から現代にいたる中国歴代の辞書に確実な記載のある文字5万字、熟語53万語を収録した。<sup>5)</sup> だが、この辞典に収録する字の大半は日常的に使うことはない。日本の「常用漢字表」（昭和56年10月1日内閣告示第1号）は、「法令・公用文書・新聞・雑誌・放送等、一般の社会生活で用いる場合の、効率的で共通性の高い漢字を収め、分かりやすく通じやすい文章を書き表すための漢字使用の目安」（「前文」による）として定められたものだが、そこには1945字が収められており、さらに2010年改定の「常用漢字表」には2136字が定められている。そのうち、教育漢字（文部科学省によって定められた小学校で学習する漢字）は1006字である。

一方、漢字の老家たる中国で1988年に公布された『現代漢語常用字表』<sup>6)</sup> には、「常用字」（2500字）と「次常用字」（1000字）に分かれて選定されている。中国の小学校では「常用字」2500字、中学校では「次常用字」1000字を学習することになっている。

## 3. 日中漢字語彙の異同

さて、新体字・国字と中国の簡体字の字形の差違を乗り越えれば安心かということ、そうではない。同じ漢字を使用しているからと言って、その文字が日本語でも中国語でも同じ意味を表すとは限らないからだ。以下に同じ漢字でも意味が異なることを中心に例を挙げる。<sup>7)</sup> なお、中国語の簡体字は業（業）のように（ ）内に日本語の常用漢字を記している。

### 3.1. 似て非なる（同字異義）

同じ漢字を使いながら意味が異なるものは、次の表

にまとめてみる。

同字異義語彙表

語種	字形	意味
日本語	勉強	学問や技術を学ぶこと。
中国語	勉強（強）	やりたくないことを無理やり、人にさせる。
日本語	妻子	妻と子。
中国語	妻子	妻。
日本語	丈夫	こわれにくいこと。
中国語	丈夫	亭主。
日本語	老婆	年とった女。
中国語	老婆	女房、妻、家内、奥さん。
日本語	愛人	恋人。また、情夫・情婦。
中国語	愛（愛）人	配偶者。
日本語	娘	自分の子である女。
中国語	娘	お母さん。
日本語	放心	ぼんやりする。
中国語	放心	安心する
日本語	大丈夫	確かで間違いがない。
中国語	大丈夫	一人前の立派な男性、勇者。
日本語	高校	中学校教育の基礎の上の高等普通教育。
中国語	高校	大学レベルの高等学府の総称。
日本語	工作	ある目的のために予め計画的な働きかけを行うこと。
中国語	工作	仕事、職業、働く、仕事をする。
日本語	作業	肉体や頭脳を働かせて仕事をする事。
中国語	作业（業）	宿題。
日本語	講義	大学の授業全般。
中国語	讲义（講義）	授業の教材。
日本語	用意	心遣い、準備、支度。
中国語	用意	意図、下心。
日本語	経理	会計に関する事務。
中国語	经（経）理	支配人・マネージャ。
日本語	告訴	こげ訴えること。
中国語	告诉（訴）	知らせる、話す。
日本語	料理	食物をこしらえること。
中国語	料理	処理する、切り盛りする。
日本語	入手	自分の手に入れること。
中国語	入手	やり始めること、着手する。
日本語	暗算	空で計算すること。
中国語	暗算	騙し討ちにする、罠を仕掛ける。
日本語	手紙	他人に送る文書。
中国語	手紙（紙）	トイレット・ペーパー。
日本語	顔色	顔の色。
中国語	顔（顔）色	色、色彩。
日本語	大家	貸家の持ち主。
中国語	大家	みんな、みなさん。

日本語	麻雀	室内遊戯の一種.
中国語	麻雀	スズメ.
日本語	便宜	都合のいい, 適宜の処置.
中国語	便宜	(値段が) 安い.
日本語	湯	水を沸かしたもの.
中国語	汤 (湯)	スープ.
日本語	走	両足を素早く動して移動する.
中国語	走	歩く, 行く.

このような同字異義語は、中国語母語話者の間違いを引き起こしやすい。例えば、日本語で「高校」と書いてあった場合、中国人はそれが高校を指すことになかなか気付きにくい。「勉強」についても、「知見を高め、学力・能力・技術などを身につけること」という日本語の解釈に対して、中国語の「勉」は無理する、「強」は嫌がることを強いるという意味になっている。また、日本語が古代中国語の意味を残し、中国語が語義変化してしまったものもある。例えば、「汤」(湯)は中国語では「スープ」のことだが、古代の中国では確かに「お湯」や「温泉」の意味として使われていた。日本語の「妻子」は妻と子供の両方を指すが、中国語の「妻子」は妻だけであり、「子」は単なる接尾語でしかない。

日中両国の文化交流において、漢字が果たしてきた架け橋としての役割は大きく、漢字で文章さえ書ければ通訳は不要であるという状態が存在していた。しかし、日本と中国の両政府の政策で、漢字を簡略化したり使用の制限などを行ったりしたため、現在は完全に漢字体系を共有しているわけではない。従って、日本の漢字はあくまで日本語という言語を表記するためのものであり、中国語を表記するための中国の漢字とは別物である。

### 3.2. 語順が逆さま (字同順異語)

日本語の語順 (目的語 + 動詞) と中国語の語順 (動詞 + 目的語) が異なることから、語意は同じでも漢字の語順が逆さまになる語彙である。例えば、

日本語→中国語: 救急→急救, 苦痛→痛苦, 制裁→裁制, 切迫→迫切, 相互→互相, 平和→和平, 融通→通融, 老衰→衰老, 露呈→呈露, 趣旨→旨趣, 制限→限制, 素朴→朴素, 面会→会面, 断片→片断, 出演→演出, 限界→界限, 暗黒→黒暗, 正正堂堂→堂堂正正, 軽減→減輕 (軽), 詐欺→欺詐 (詐), 門出→出門 (門), 紹介→介绍 (紹), 感銘→銘 (銘) 感, 運命→命运 (運), 情熱→熱 (熱) 情, 短縮→縮 (縮) 短, 発散→散发 (発), 紛糾→糾紛 (糾

紛), 満載→載満 (載満), 乱雑→雑 (雑) 乱, 離脱→脱离 (離), 累積→積 (積) 累, 施設→設 (設) 施, 貸借→借貸 (貸)。

## 4. 間違いやすい漢字

同じ漢字でも意味が異なる、また意味が同じでも漢字の順が逆さまを理解すると同時に、中国の漢字と似ていて違うものを注意しなければならない。その例を以下のように分類して述べる。

### 4.1 日本語の漢字が中国語の漢字より一画多いもの。

日本語: 況 歩 対 単 沖 決 涼 減 呂  
宮 庁 浅 残 帯  
中国語: 況 步 对 单 冲 决 凉 减 吕  
宫 厅 浅 残 带

日本の常用漢字も、中国の簡体字も、ともに一画でも画数を減らすことに重きを置いたため、省略のための省略もまま見受けられる。

### 4.2 日本語の漢字が中国語の漢字より一画少ないもの。

日本語: 突 徳 圧 抜 臭 器 収 隆 微  
喝 黒 強 毎 海  
中国語: 突 德 压 拔 臭 器 收 隆 微  
喝 黑 强 每 海

こちらは日本語で一画減らした例が多く、「突」や「徳」など、やはり省略のための省略が多い。一方、「圧」と「压」の違いは、ともに「壓」の簡略字であり、省略法が互いに少し異なったものである。

### 4.3 日中の漢字二画以上が違うもの。

日本語: 魚 漁 魯 恵 穂 卓 銭  
中国語: 鱼 渔 鲁 惠 穗 桌 钱

以上の (4.1) (4.2) と基本は同じだが、更に省略した画数が多いものである。

### 4.4 同じ形に見えるが、日本語の漢字が中国語の漢字より一画多いもの。

日本語: 以 (5) 瓦 (5) 叫 (6) 修 (10) 卑 (9)  
鬼 (10) 差 (10) 象 (12)  
中国語: 以 (4) 瓦 (4) 叫 (5) 修 (9) 卑 (8)  
鬼 (9) 差 (9) 象 (11)

〈 〉中の数字は画数。中国語の漢字「以」の第一画、「瓦」の第二画、「叫」の第四画、「修」の第五画はそれぞれ「折れ」である。「卑」と「鬼」の第六画は「縦



棒」ではなく「左はらい」であり、「白」を貫く。「差」と「象」も同じように、真ん中の縦棒とその左下の斜め線が融合して一画になっている。一見同じように見えるため、とりわけ中国語母語話者が間違いやすい罪作りの改変である。しかも画数を数え間違えることで、辞書すら引けないということにもなりかねない。

以上見てきたように、日本と中国の漢字の字形は、違いがあるものが多い。しかし、同じ漢字文化圏で共通の漢字もある、ということに甘えてか、日本語漢字の習得は容易いと思い込んでいる中国語母語話者は多い。そのためか、従来日本語教育においては発音能力の育成と文法の習得にばかり力が注がれていたように思う。確かに中国語母語話者にとって日本語の発音は難しく、初級において繰り返し練習する必要があることは否定しないが、それと同じくらい漢字の「形」と「義」に理解も大切である。

## 5. おわりに

母語の中国語で習得した漢字の知識を活かしながら、日本語の漢字とその構造、及び日中漢字の異同等を注意しなければならない。漢字は形・音・義の三者を備えた「表意文字」であるので、日中の漢字を正確に理解するためには、字形・発音・意味の三要素のうち、一つも欠けではいけない。しかし、中国語母語話者の意識は、日本語の漢字の「音・読み」に偏り、「形」と「義」にはあまり注意が向けられていない。確かに、日本語学習の初級段階で導入される漢字の中には、中国語と「形」「義」が共通しているものが多く、日中の漢字に異なる点があると言われても、それを実感する機会が少ないことで、そこに注意を向ける必要があるという意識が薄れていくのではないだろうか。

そこで、日本語学習における漢字の書き間違いを防ぐために、以下の教学方法を講じるべきと考える。まずは、間違いやすい漢字の部首や筆画を整理してまとめ、典型的な誤りを分析することを通して、学生に正確な書き方を教える。また、日中の漢字の中に似て非なるものを徹底的に比較対照して、特に学生の見落としやすい微細な差異を示して、画数や筆画の違いまで丁寧に教える。さらに、日本語の新体字・国字および中国語の簡体字の区別などを指摘して、日本語の表記が中国の簡体字と繁体字のいずれとも異なっている字体を注意させる必要があると思われる。

## 注

- 1) 日本語能力試験公式サイト (<https://www.jlpt.jp/index.html>) に拠る。
- 2) 本文でいう「中国語母語話者」は中国語を母語とする日本語学習者を指している。学界ではよくNCS (Native Chinese Speakers) と表記する。
- 3) 『康熙字典』とは、18世紀の初めに清の康熙帝の勅命によって編纂された漢字辞典で、そこに掲げられた漢字の字体・字形が活字を作る際の規範となり、日本でも戦前の明朝体活字の設計はおおむねこれに依っていたとされる。
- 4) 中華人民共和国国家語言文字工作委员会漢字処 (1986) 『簡化字総表』語文出版社。
- 5) 大修館公式サイト (<https://www.taishukan.co.jp/book/b197527.html>) の説明紹介に拠る。
- 6) 中華人民共和国国家語言文字工作委员会漢字処 (1988) 『現代漢語常用字表』語文出版社。
- 7) 「同じ漢字」というのは、現在使用している字体(簡体字)に違いがあっても、康熙字典字体に遡れば同字だと判断される文字を指している。

## 参考文献

- 1) 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語—日本語教育研究資料』大蔵省印刷局
- 2) 阿辻哲次 (1999) 『漢字の社会史—東洋文明を支えた文字の三千年』PHP新書
- 3) 盛凱 (2002) 「漢字機能と漢字文化の未来」『岡山商大論叢』38 (2)
- 4) 張麟声 (2004) 『日中ことばの漢ちがい』くろしお出版
- 5) 劉徳有 (2006) 『日本語と中国語』講談社
- 6) 盛凱 (2007) 「意味分類から見た日中経済漢字語の違い」『北星学園大学経済学部北星論集』46 (2)
- 7) 益岡隆志 (2011) 『はじめて学ぶ日本語学』ミネルヴァ書房
- 8) 中島英機 (2013) 『こんなに面白い 似て非なる日中の漢字』文芸社
- 9) 盛凱 (2013) 「日中漢字語彙比較研究：二字漢字語を中心に」『岡山商科大学論叢』49 (2)
- 10) 湯沢質幸 (2017) 『漢字は日本でどう生きてきたか』開拓社
- 11) 小室リー郁子 (2019) 『中国語母語話者のための漢字語彙研究:母語知識を活かした教育をめざして』くろしお出版

# 付録：「字形に注意の必要な漢単語一覧」

この「字形に注意の必要な単語一覧」は、筆者が使用している日本語の教科書に収録する語彙のうち、間違いやすい日本語の漢字と、対応する中国語の漢字とを並べてまとめたものである。なお、(日)は日本語の漢字、(中)は中国語の漢字を指す。

## 『新大学日本語第二冊』

(主編：蔡全胜・肖爽・賀静彬，大连理工大学出版社，2007年6月)

### 第1課：願書がほしいんですが

(日) 願書 問合 交換手 自動車 電気製品 電気屋 避難 話題 直

(中) 愿书 问合 交换手 自动车 电气制品 电气屋 避难 话题 直

(日) 詳 意見 洗濯物 乾 同窓会 時代 懐 時語 衣類 獎金

(中) 详 意见 洗涤物 干 同窗会 时代 怀 时语 衣类 奖金

(日) 試験 出産 論文 新築 販売計画 準備 残念 昔話 雇用 見物

(中) 试验 出产 论文 新筑 贩卖计划 准备 残念 昔话 雇用 见物

(日) 電話帳 連 記念 図案 植物園 水族館 誘 連絡

(中) 电话帐 连 纪念 图案 植物园 水族馆 诱 联络

### 第2課：ちょっと待ってください

(日) 運 食器 店員 満 洗車 点検 灰皿 支払 手続 冷 伝言

(中) 运 食器 店员 满 洗车 点检 灰皿 支付 手续 冷 传言

(日) 並 頼 軽 床間 掛軸 植 窓 貼 出張 確認 手帳 捨

(中) 并 赖 轻 床间 挂轴 植 窗 贴 出張 确认 手账 舍

(日) 申込書 郵便 売出 箸

(中) 申请书 邮便 卖出 箸

### 第3課：雨が降るらしい

(日) 今朝 雲 天気予報 準備運動 冷 機械 廃棄物 処理 総理

(中) 今朝 云 天气预报 准备运动 冷 机械 废弃物 处理 总理

(日) 病気 画家 実 勝手 大風 満足 公務員 台風 列車 正直

(中) 病气 画家 实 勝手 大风 满足 公务员 台风 列车 正直

(日) 代表団 残業 関係 苦勞 優 頭 選手 証明書 無理

(中) 代表团 残业 关系 苦劳 优 头 选手 证明书 无理

### 第4課：すぐ覚えることができます

(日) 回覧 天然 勉強 頑張 勤 反対 勇気 農村 様式

(中) 回览 天然 勉強 顽张 勤 反对 勇气 农村 样式

(日) 長生 賛成 月給 美術館 漢字 運転

(中) 长生 赞成 月给 美术馆 汉字 运转

### 第5課：毎日2キロぐらい走ることになっている

(日) 広州 気候 辺 調子 減 驚 家具 布団 単身赴任 転勤

(中) 广州 气候 边 调子 减 惊 家具 布団 单身赴任 转勤

(日) 社員 技術 指導者 抵抗力 別 洗濯 想像 日記 養老院

(中) 社员 技术 指导者 抵抗力 别 洗涤 想象 日记 养老院

(日) 客間 偉 社長 可愛 悪 成績 追試験 専門 教師 保証人

(中) 客间 伟 社长 可爱 恶 成绩 追试验 专门 教师 保证人

(日) 厳禁 禁煙 撮影 駐輪 週末

(中) 严禁 禁烟 摄影 驻轮 周末

### 第6課：どう行けばいいんですか

(日) 尋 駅員 恵比寿 乗換 番線 階段 右側 終電 事務員 渋谷

(中) 寻 站员 惠比寿 乘换 番线 阶段 右侧 终电 事务员 涩谷

(日) 角 黒 駐車場 維持 橋 博物館 鳴 霞関

(中) 角 黑 停车场 维持 桥 博物馆 鸣 霞关

### 第7課：どうしようかしら

(日) 在庫 縦 縞 協力 推薦状 伝言 検索 両替 正門 貸

(中) 在库 纵 縞 协力 推荐状 传言 检索 两替 正门 贷

(日) 噴水 結果

(中) 喷水 结果

### 第8課：お年玉をあげます

(日) 贈物 遅 馳走 毎月 生活費 着 靴下 編 僕 来賓

(中) 贈物 迟 驰走 毎月 生活費 着 靴下 編  
仆 来賓

(日) 怒鳴 指輪 前売券 賞品

(中) 怒鸣 指轮 前卖券 奖品

第9課：先生に呼ばれた

(日) 罰金 経験 違反 工場 作業 簡単 関連  
危険 番組

(中) 罚金 经验 违反 工厂 作业 简单 关连  
危险 番組

(日) 発表 騙 強盗 大勢 季節 新聞社 記者  
装置 開発

(中) 发表 骗 强盗 大势 季节 新闻社 记者  
装置 开发

(日) 規模 計画 汚 肩 転

(中) 规模 计划 污 肩 转

第10課：空港に着いたら

(日) 搭乗手続 機内 済 進学 歓迎 出願 資格  
該当 財団

(中) 搭乘手续 机内 济 入学 欢迎 出愿 资格  
該当 财团

(日) 国際 実施 入門 領域 基礎知識 謝 環境  
比較 筆記

(中) 国际 实施 入门 领域 基础知识 谢 环境  
比较 笔记

(日) 書類 会場 武器 厳

(中) 书类 会场 武器 严

第11課：鈴木でございます

(日) 世話 進路 変 輸出 検討 部長 包 住所  
歓談 拝見

(中) 世話 进路 变 输出 检讨 部长 包 住所  
欢谈 拜见

(日) 現品 変更 休講 参考書 中間

(中) 现品 变更 休讲 参考书 中间

第12課：しばらくご遠慮くださいませ

(日) 皆様 鹿児島 落語 楽 指導 広東 講演会  
応接室

(中) 皆样 鹿儿岛 落语 乐 指导 广东 讲演会  
应接室

(日) 拝聴 拝借 拝顔 拝受

(中) 拜听 拜借 拜颜 拜受

第13課：行かせてください

(日) 親 感動 手術 間違 携帯 無事 喧嘩 習  
事 将来

(中) 亲 感动 手术 间违 携带 无事 喧哗 习  
事 将来

(日) 語学 悩 電卓 冗談

(中) 语学 恼 电桌 冗谈

第14課：お1つどうぞ

(日) 訳 知識 用語 消極的 積極的 曖昧 慣  
保険 商売

(中) 译 知识 用语 消极的 积极的 暧昧 惯  
保险 商卖

(日) 納得 時給

(中) 纳得 时给

第15課：忘年会

(日) 今晚 仲間 過 幸運 親戚 習慣 騒 体験  
鐘 時差

(中) 今晚 仲間 过 幸运 亲戚 习惯 骚 体验  
钟 时差

(日) 送別会 約束 見出 機嫌 夫婦

(中) 送别会 约束 见出 机嫌 夫妇

第16課：携帯電話

(日) 携帯電話 相談事 背広 祝儀袋 豪華 暖房  
金額 開業

(中) 携带电话 相谈事 背广 祝仪袋 豪华 暖房  
金额 开业

第17課：送別会

(日) 焼鳥 築地 有意義 乾杯 質 学長 連休

(中) 烧鸟 筑地 有意义 干杯 质 学长 连休

Received date 2019年11月29日

Accepted date 2020年1月20日